



目標達成に向けた3つの基本方針と具体的施策

パートナーシップを重視するSDGsの考え方を踏まえ、市民、事業者、地域コミュニティをはじめ、通勤・通学者やインバウンドを含む観光客などの来阪者その他あらゆる主体と連携しながら、施策を推進します。

基本方針1

消費生活と経済活動における2Rの推進

「持続可能な循環型社会」の形成に向け、3Rの取組の中でも、より優先度の高い2R(リデュース、リユース)の取組を推進します。使い捨てプラスチックや食品ロスの削減など、2Rを優先した行動を実践する未来志向のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換、各主体の行動変容(アクション)をめざします。



主な取組

1-(1) 情報発信による意識の醸成と環境教育・普及啓発による行動の促進

- 多様なツール(SNSや動画、デジタルサイネージ等)を活用した情報発信
- 持続可能な循環型社会をめざす取組を「Push for Eco!(大阪エコ推し)」運動として展開
- 副読本「おおさか環境科」による環境教育や出前授業(体験学習)を学校等で実施
- 地域と連携し、行動変容につながるような具体的で分かりやすい普及啓発を充実
- 業種ごとの具体的なごみ減量の効果的な取組方法について普及啓発を実施
- 事業者のごみ減量や適正処理につながる取組を提案するプッシュ型によるサポートの実施
- 外国人住民及び外国人事業者に対して、多言語版啓発ツールを活用した周知啓発
- インバウンドを含む多くの来阪者が見込まれる大規模集客施設や宿泊施設に対する啓発 など

1-(2) プラスチック資源循環アクションプラン(リデュース・リユース)

- プラスチックごみ削減等の取組を「Push for Eco!(大阪エコ推し)」運動として実施(再掲)
- 観光スポットに給水スポットを設置し、ペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品の削減
- リユース食器の活用をはじめとしたイベントでのごみ減量の取組について普及啓発
- 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画と連携した使い捨てプラスチックの削減 など

1-(3) 食品ロスの削減 (食品ロスの削減に向けた取組は、裏表紙参照)

1-(4) 市民・事業者・行政の連携による取組の推進

- 事業者のサービスを活用した市民のリユース行動の促進
- 地域のごみ減量・リサイクルを推進するごみゼロリーダーと連携したガレージセール開催 など

基本方針2

質の高い資源循環に向けた分別・リサイクルの推進

家庭系ごみについては市民・地域コミュニティと連携し、ごみの分別の徹底、リサイクルを推進します。また、分別収集した資源がどのような流れで循環していくのかを示していくこと(見える化)で、分別意識の向上を図ります。事業系ごみについては、排出事業者による主体的なリサイクル行動を促進することを原則としつつ、ごみの減量や適正区分・適正処理につながる取組を積極的に提案し、事業系ごみの減量を進めます。